

理系が活躍できる

Finance Industry Jobs

金融業界の仕事

「理系が活躍できる仕事」「企業が理系を積極採用している職種」は、研究職やエンジニアだけではなく、かつて“文系就職”とイメージされていた金融や商社といった業界でも、論理的思考力や数理能力に長けた理系人材を積極的に採用したいという企業は少なくありません。今号の理系ナビでは、営業やコンサルタント、金融専門職といった仕事を“ビジネス系職種”と総称し、その中でも理系学生が特に注目すべき職種を紹介・解説します。

01 生保アクチュアリー

第一生命グループ（第一生命保険株式会社）

P.019



02 損保アクチュアリー

三井住友海上火災保険株式会社

P.020



03 年金アクチュアリー

みずほフィナンシャルグループ（みずほ信託銀行株式会社）

P.021



04 投資銀行部門

大和証券株式会社

P.022



05 IT・システム

第一生命グループ（第一生命ホールディングス株式会社）

P.023



06 セルサイドクオンツ

大和証券株式会社

P.024



07 バイサイドクオンツ

第一生命グループ
（パーテックス・インベストメント・ソリューションズ株式会社）

P.025



商品開発や会社の健全性評価に 数理能力で貢献する

生保アクチュアリーの仕事は大きく分けて二つあります。一つは、商品開発を行う「ライシング」です。商品開発、営業・販売、法務・コンプライアンス、アンダーライティング、資産運用など、社内の多くの部門とアクチュアリーが協業して取り組みます。

どのような商品にするのか、商品スペックの企画や検討と並行して、保険料設定など数理の面でアクチュアリーが設計します。お客さまにとって魅力的な商品か、将来にわたって保険金支払いが可能な保険料水準か、そして収益性が確保できるか、これらのバランスを考えることが重要で、他社の商品との差別化を図りつつ、全体最適解を求めていく難しさはありますが、お客さまのお役に立てることの達成感がやりがい

です。

そしてもう一つの仕事は、会社の健全性を見る「バリュエーション」です。生命保険には長期性という特

徴があります。生命保険は商品を販売して終わりではなく、販売後にも確実にお客さまに対して保険契約を履行する必要があります。そのため、四半期ごとの決算業務や単年度の収支予測業務、そして事業計画を踏まえた会社全体の長期収支シミュレーションを行います。

将来予測は、保険事故発生率などの前提条件次第で計算結果が異なります。そのため、前提条件と計算結果の数値の評価が重要です。その計算結果をただ報告するだけではなく、課題の発見とそれに対するアクションなどを、経営に対して提言することも重要な業務です。

ビジネスの中核を担う アクチュアリーの存在

ライシングやバリュエーションのほか、リスク管理やデータサイエンスなど、世の中の変化に応じて生保アクチュアリーの活躍フィールドは広がっています。第一生命グループでは、生命保険会社などのM&Aにおける企業価値評価や、リスク評価もアクチュアリーの役割です。そ

Life Insurance Actuary

経営の羅針盤～サイエンスとアートの融合 収支構造やビジネスを深く理解し経営に提言

して、生保アクチュアリーは数理的な専門性を発揮する業務はもちろん、事業戦略・経営企画・財務企画などに携わっています。会社の収支構造やビジネスモデルを深く理解し、世の中や会社全体の動きを俯瞰的に見て、課題の抽出や解決策の提示、実行につながる存在なのです。まさに「経営の羅針盤」としての役割を担っているといえるでしょう。

また昨今、国内の生命保険会社のグローバル展開が進んでおり、アクチュアリーにも海外生保事業に挑戦するチャンスが広がっています。第一生命グループも、アメリカ、オーストラリア、ベトナムなどに進出しています。生命保険の商品は各国の公的社会保障制度や文化、家族観の違いなどを如実に反映していて、多様な価値観を学べます。

生保アクチュアリーには、 無限の可能性がある

数理的な素養のほか、国内外の社会・経済情勢、金融市場の動向、医療・介護・年金など公的保険制度、医療技術の進展、DXなど、アクチュアリーには様々な知識が求められます。さらには、文理の枠にとらわれない「リベラルアーツ」も大切です。専門性に基づくデータ分析

やまざき ひろし
山崎浩
第一生命保険株式会社 主計部長(取材当時)
(第一生命ホールディングス株式会社 主計・経理ユニット兼務)
東京工業大学 理学部数学科 卒



「サイエンス」と、将来の会社経営の目指す姿を描く「アート」、これらの融合が生保アクチュアリーの目指すゴールではないかと思えます。

活躍のフィールドが広いことから、生保アクチュアリーには専門分野を極めることはもちろん、会社経営や海外事業など様々なキャリアの可能性があります。私自身、入社当初はアクチュアリーの専門職を目指していましたが、多くの人と接するなかで会社経営全般に関わりたという気持ちが強くなりました。就職活動を通じて様々な業種の企業や働く人々の話を聞き、ぜひご自身がどのような仕事を通じて社会に貢献したいか考えてください。

01 生保アクチュアリー

02 損保アクチュアリー

「計算ばかり」の仕事ではなく
様々な商品開発プロセスに携わる

損保アクチュアリーの主な仕事の
一つは商品開発です。保険料率を算
出する大切な役割を担っています。

保険商品は金融庁の認可を得ない
と販売できません。保険料率の算出
をした上で金融庁に認可申請をして
認可を得られたら販売することがで
きます。そして実際に販売して、し
ばらく経ってから適切な保険料に
なっているかを検証し、当初算出し
た保険料率がリスク実態と乖離して
いるような場合には商品・料率を改
定する——というのが仕事のサイク
ルです。

損保アクチュアリーの仕事に対し
て「計算ばかりしている」というイ
メージは実像と異なります。例えば、
自社の社員などに向けて商品の特徴・
変更点を説明する際のガイドブック
作成に携わることもあります。ここ
では、数理的に算出した料率を、い
かに分かりやすく営業現場に伝えて
いくかということが重要となります。
その他にも、様々な業務を通じて

様々な人とかかわりながら仕事を進
めていくこととなります。

保険料を1%変えるだけで、
経営に大きなインパクトを与える

損害保険会社が様々な保険商品を
扱っている中で、私は自動車保険の
商品開発をしています。損保会社の
中でも売上に占める割合が一番大き
く、900万台を超える自動車でご
契約いただいております。保険料に
直すと年間で6000億円を超える
規模です。我々が保険料を1%変え
るだけで、会社にとっては利益が数
十億円も変動することになるのです
たかが1%でも、経営にそれだけの
インパクトを与えます。責任もあり
ますが、やりがいも感じます。一方、

国内の自動車保険市場は頭打ちに
なっています。事業を成長させるた
めには海外に進出していかないと
けません。ですが、海外に出たら海
外の事情に合わせて保険を商品開発
しなくてはならず、もっと多くのア
クチュアリーが必要になります。

業界を見渡してみても、損保アク
チュアリーは全然足りていません。

General Insurance Actuary

活躍フィールドは広く、若手にも活躍のチャンス

若い人にもチャンスが多く巡ってく
る仕事だと思えます。若い人たちに
もっと飛び込んできてもらって、
もっと活躍してほしいですね。

理論的な正しさではなく
バランス感覚が重要に

アクチュアリーの仕事について
「統計データを使って確率計算すれば
答えが出るじゃないか」と感じてい
る人がいるかもしれませんが、実際
にはそんな単純なものではありません。

保険を販売しているのは、1社だ
けではありません。仮に「これだけ
の値上げをしないと採算が取れない」
という数字が出てきたとしても、競
合会社ももっと安い金額で売り出し
てきたら、まったく売れなくなりま
す。理論的に正しい。値段を計算す
るだけでなく、お客様の反応や競合
会社の動向を考えながら値段を決め
なくてはならないのです。バランス
感覚が非常に求められますね。

数学に関しては大学で学ぶ基礎的
なレベルが分かっているれば大丈夫で
す。数学科レベルの高度な知識は必
ずしも必要ありません。むしろ周囲
と上手くコミュニケーションが取れ
る能力、商品開発のプロセスの中で
商品のことを分かりやすく説明でき

る能力が必要とされる局面も多いの
ではないでしょうか。

海外進出の話をしました。それが、それ
以外にも損保のアクチュアリーは火
災・傷害・医療など、様々な分野の
保険を扱っています。非常に大きな
可能性があると、魅力です。若手社員がプロジェクトを主導する
チャンスはありますし、逆に活躍し
ていたかないと我々は困っています
(笑)。



おおとも たかひと
大友 貴人

三井住友海上火災保険株式会社
自動車保険部 料率収益チーム長
※取材当時(現在はリスク管理部・
副保険計理人)
日本アクチュアリー会正会員
東京工業大学 理学部 卒

03 年金アクチュアリー

数理能力を活かして、最適な企業年金制度を設計／助言

大企業の多くは、福利厚生の一環として従業員に対する年金制度を導入しています。その企業年金制度の設計／コンサルティングを手掛けるのが年金アクチュアリーです。

年金アクチュアリーの役割は大きく分けて二つあり、一つは企業年金の掛金や債務の算定といった計算業務です。具体的には、「企業が将来、従業員に対して年金を給付するためには、どの程度の掛金が必要なのか」「現時点でどのくらいの負債があるか」などを、確率統計に基づいた数理計算によって算出します。その他にも、退職給付に関する企業会計上の負債や費用の計算業務も仕事に含まれます。もう一つは企業年金の制度設計を中心としたコンサルティング業務です。企業年金制度の立ち上げや、現在の企業年金制度の変更といった要望に対して、ニーズに合った最適な年金制度を提案します。また、企業年金や退職一時金といった退職給付制度が企業の財務諸表に与える影響

の分析など、退職給付制度全般に関わる課題に対して様々な角度からソリューションを提供しています。近年では、コンサルティング業務を中心に、年金アクチュアリーの役割はさらに大きくなっています。

より高度化する年金制度運営に、専門家として関わる

企業年金は、法令の改正やビジネス環境の変化など、様々な外的要因に左右されます。たとえば「改正高年齢者雇用安定法」で企業は70歳まで就業確保措置をとることが努力義務化されましたが、定年延長を行えば年金制度を見直す必要があります。また、確定拠出年金制度をはじめとした年金制度の法改正に伴い、「企業年金制度の整備も必要となってきました。さらに昨今は企業の合併や再編が盛んであり、異なる企業の年金制度をどのように合わせるかが課題となります。他にも、人材を投資対象の資本と捉え価値を引き出す「人的資本経営」の観点から退職給付制度を見直す提案も当行では実施しています。このように、様々な変化の中で年

Pension Actuary

数理的素養と専門性をベースに、個々の企業に合った年金制度を提案

金制度を運営するには、アクチュアリーの存在が不可欠です。数理的素養と専門知識を駆使してお客さまのお役に立てた時は、専門家としての存在意義を実感できます。さらに、年金制度は企業の理念や従業員への想いを反映するものでもあります。お客さまとのコミュニケーションの中からニーズを汲み取り、法改正や世の中の変化など最新の情報を提供しながら最適な年金制度をオーダーメイドで提案し、意思決定をサポートできるのが仕事の醍醐味です。

最終的に提案した年金制度がスタートし、お客さまから感謝されたときに、大きな達成感を得られます。より高度化していく年金制度運営に専門家として関わる年金アクチュアリーの活躍の場は、今後ますます広がっていくでしょう。

理系の数理的素養を發揮できるアクチュアリー

アクチュアリーとして活躍するには、数理的素養が重要です。どの専攻であろうとも、理系人材が共通して備えている数値感覚は、アクチュアリーに不可欠だと実感しています。また、お客さまのニーズや課題を引き出す力や、専門的な内容を分かりやすく説明する能力も大切です。さ



もり ゆき
森 祐樹

みずほフィナンシャルグループ
(みずほ信託銀行株式会社)
年金コンサルティング部 マネジャー
年金数理人／日本年金数理人会正会員
日本アクチュアリー会正会員
東京大学大学院理学系研究科
物理学専攻修了

らに、企業を取り巻く環境や法令の変化について知識をアップデートし続けることも求められます。

なお、当行では年金アクチュアリーの早期育成を目的として、若手行員へのアクチュアリー試験対策を含めた教育支援制度を用意しています。ほとんどの若手アクチュアリー候補が入行1〜2年程度のうちに1次試験を、5年程度で2次試験を突破しています。人生100年時代と言われる中で、年金制度はますます重要になっています。自らの専門性と能力を磨き、世の中の流れを的確に捉えながら、企業や人に貢献したいという方は、ぜひ将来の職業として検討してみてください。

04 投資銀行部門

IPOやM&Aなど、企業の事業拡大・財務戦略をサポート

投資銀行（インベストメント・バンキング）部門は、企業の資金調達や事業・財務戦略を支援する役割を担っています。顧客企業のトップマネジメント層や経営戦略・財務責任者と協業しながら、資金調達（株式や債券の発行など）、株式新規公開（IPO）、M&Aといった、顧客企業に応じたベストなソリューションを提供します。

大和証券では総合証券会社である強みを活かし、M&A／IPO等の戦略立案・実行にとまらず、関連する投資家対応、公開買付手続きから当社グループのシンクタンクである大和総研が提供するM&A／IPO後の実務支援まで、ワンストップでクライアントのニーズに添えています。企業の未来を左右する場に、若いうちから携わることができる魅力があります。

将来性ある企業の上場を、二人三脚で成し遂げる

投資銀行業務の中でも、株式新規公開（IPO）は企業のニーズが高い手法

の一つです。株式を上場することで、優良かつ将来性豊かな企業として社会的認知度を高められ、市場からの資金調達や、優秀な人材の確保が可能となります。それにより、企業は独自技術を世の中に役立てたり、新規事業を立ち上げたりできるので、私達IPOコンサルタントは、そうした将来性ある企業の上場をサポートしています。スタートから上場までの期間は、約2〜3年。「上場」という企業の大きな第一歩を支援する、非常にやりがいのある仕事です。上場までの具体的なプロセスとしては、主幹事を取るための「提案（自分の提案するファイナンスプランを説明するコペ）」、体制整備などの「コンサルティング業務」、そして「審査」があります。「提案」では、ピッチブックという提案資料を作成しますが、ここで大切なのが、上場時の企業価値を算定する「バリュエーション」です。顧客企業の現状はもちろん、市場の状況やビジョンなど様々な要素を勘案し、試行錯誤を重ねて説得力を持った数字を算出する、非常に繊細な業務です。また、投資家に説明する成長戦略で

Investment Banking Department

企業のトップマネジメント層と協業し、未来に向けた“第一歩”を支援する

ある「エクイティストーリー」の構築も重要です。市場から調達した資金によって企業がいかにか成長していくのか、未来に向けたストーリーをロジカルに組み立てることが求められます。

主幹事になることが決まれば、社内管理体制の整備サポートや資本政策のアドバイスなど上場企業として適正な企業の基盤を作るための「コンサルティング業務」を行います。上場は企業にとっての一大イベントですが、あくまで成長のための一つの節目であり決してゴールではありません。上場がゴール。とならないようお客様と日々ディスカッションを繰り返しながら、まさに二人三脚で未来を見据えた体制作りを支援していきます。

そして、社内と証券取引所の「審査」を経て、いよいよ上場となります。地道な仕事の積み重ねが多く、苦しいことも多い仕事ですが、やはり上場の時は何にも代えがたい感動があります。さらには、グロース市場からプライム市場への市場変更を果たすなど、上場後も顧客企業が継続して成長していくことも喜びとなります。

数字や論理的思考力を駆使して試行錯誤を重ねる、研究によく似た仕事

投資銀行部門では、理系人材が多

数活躍しています。バリュエーションでは様々な定量的なシミュレーションを行って企業価値を評価していきます。提案の組み立てには論理的思考力が不可欠です。提案も一度で完璧なものができるわけではなく、試行錯誤を重ねて最適な結論を出していきます。その過程が、理系の研究に似ていると思います。また、メーカーを担当する場合など、専攻分野を活かせるチャンスもあります。他にも、AIや先端IT技術の活用など、理系の強みや専門性を発揮できる仕事が多くありますので、ぜひ興味を持ってほしいですね。



おおたけ
みさき
大竹美貴子

大和証券株式会社
企業公開アドバイザー部 課長代理
早稲田大学 先進理工学部
電気・情報生命工学科 卒

05 IT・システム

「InstTech」による 新たなイノベーションの創造

金融機関にとって、ITシステムは経営戦略を実現するために不可欠なものです。日々の業務はもちろん、お客さまとの接点など、あらゆる機能をITシステムが支えています。そのため、生命保険会社のIT部門の仕事も多岐にわたります。

例えば、各部門で利用する業務システム、営業職員が利用する端末、インターネット契約のためのアプリ開発、そしてサイバーセキュリティの強化なども担当します。また、意外に思われるかもしれませんが、保険の新商品開発にもIT部門が初期段階から携わっています。商品が複雑になるほど、新規契約の引受事務や保険金支払い事務などに関わるシステムも複雑となってしまうため、ITの観点は重視されています。特に生命保険の場合は、お客さまとの付き合いが長きにわたることから、短期的な効率の良さだけではなく、長期的な視点で運用コストを見ていくことが重要です。

さらに第一生命グループでは、保険ビジネスとテクノロジーの融合から生命保険事業独自のイノベーションを創出する取組み「Instech」を、最優先の戦略課題として全社で推進しています。以前は、金融業界ではとくに安定した「守り」に特化したシステムが求められました。しかし、変化が激しい昨今においては、「守り」は根底にありながらも、スピーディーに最先端のデジタル技術を取り入れて、機動的な経営ができるような

「攻め」のシステム開発も大切です。世の中には様々なIT製品や技術が存在し、無限ともいえる選択肢があります。その中で自社の商品や業務効率などあらゆる観点から取捨選択し、守りと攻めのバランスを取りながら事業に貢献することがIT部門の大きなミッションです。

IT部門は、金融機関の 経営を推進するエンジン

生命保険会社には、より良い顧客接点の創造やAIを活用した業務効率化など、ITによる変革の余地がまだまだ多くあると感じています。また、第一生

IT / System

“守り”だけではなく、“攻め”のITも駆使し、 金融機関の事業を根幹から支える

命グループでも「CXデザイン戦略」と銘打ち、保障だけでなく、お客さまの健康増進や資産形成・承継分野における体験価値の向上につながるビジネスモデルの変革が進められています。このように既存業務の改善だけでなく、新規事業を立案・実現する際も、システムなくしては進められません。IT部門というと、誰かが決めたことを下請けのように行う印象を持たれることがあるかもしれませんが、率先して提案を行うことが必要です。会社の経営を推進するエンジンともいえる重要な存在であることが、仕事のやりがいです。

そして、国内の生命保険会社は海外進出が盛んです。M & Aをすればシステム統合が発生しますし、海外グループ会社との部門関係も必要になります。ITシステム担当として海外グループ会社のIT部門を支援したり、あるいは先進的な取組みを進めているグループ会社からノウハウを取り入れたりもしています。このように、先進事例の採用や、グローバルでの活躍チャンスなど、活躍の幅が広いことも魅力です。

巨大なシステムに触れ、 幅広いキャリアを描く

金融機関のIT人材は、単に割り

り見られないほど巨大です。大きなシステムに携わりながら、幅広いキャリアを描いていきたい方に、ぜひ挑戦してほしいですね。

当てられたプログラミングを行うのではなく、プログラムがハードウェアあるいはソフトウェアのどこで動くのか、それはユーザーにどのように利用され、会社の経営戦略にどのように繋がるのか、全体像を理解・分析して、より良い対応をする必要があります。ITスキルを持つ人はもちろん、金融ビジネスに関わる情報を収集する好奇心と熱意を持つ人に向いているでしょう。



あんどう いさわ
安藤 伊佐武

第一生命ホールディングス株式会社
執行役員

第一生命テクノロジー株式会社
代表取締役社長

東京大学工学部船舶海洋工学科卒

06 セルサイドクオンツ

証券会社のビジネスを力強く支えるクオンツの存在

証券会社など金融商品を、販売する、側の企業で働くのがセルサイドクオンツです。金融市場にはデリバティブ（金融派生商品）という複雑な仕組みの商品があり、セルサイドクオンツは高度な数式を用いてデリバティブの価格を計算する評価モデルの開発や、その管理運用を担っています。

例えば、急速な円高が進むと輸出企業は業績が悪化しますが、円高になった際に利益が出る仕組みのデリバティブ商品を利用すれば、為替リスクをヘッジできます。他にも、金利リスクをヘッジできるものや、株価が乱高下している中でもお客様が利益を得られるものもあります。金融規制や世界情勢などを反映したモデルを開発するクオンツは、お客様に適切な利益を還元する役割を担っているのです。

一方、そのようなデリバティブを販売して実際に市場が動いた場合、ただデリバティブを販売するだけでは証券会社側が損失を被るため、リ

スク状況を踏まえてトレーダーが損失のリスクヘッジ取引を行います。そうしたリスクヘッジのためのシミュレーションを行うことも、クオンツの仕事。クオンツがいなければ、プライミングもリスク分析もできません。開発された評価モデルはデリバティブの、核であり、またクオンツ自身もデリバティブビジネスの中心に位置する重要な存在です。

理系の研究活動と金融ビジネスの最前線、双方の面白さを感じられる

セルサイドクオンツと一口に言っても、様々な役割があります。私が所属するフィナンシャル・エンジニアリング課では、モデルを一から開発するモデルクオンツと、トレーダーと協業するデスククオンツに分かれ、リスクの管理や収益の最大化を目指しています。私はデスククオンツとして、デリバティブを売買するトレーダーや、仕組債というデリバティブを組み込んだ債券を組成するストラクチャラー、機関投資家商品提案するセールズなど、マー

Sell-Side Quants

数理能力を駆使して、証券ビジネスの中核を担う評価モデルを開発

ケットの最前線で働く人々をサポートしています。例えば、トレーダーがリスクを確認するためのツール作成やストラクチャラーが考案した商品の価格計算など、モデルクオンツが開発したモデルを活用し現場のニーズに応えています。また私たちの他にもバリデーションクオンツという、モデルの妥当性や特性を独自に検証するクオンツなどもセルサイドには存在します。

クオンツの仕事の魅力は、理系の研究活動とビジネスの世界、両方の面白さを感じられることです。たとえばトレーダーの要望に対して「どのようにすれば解決できるのか」、論理的な思考で仮説と検証を繰り返します。そのプロセスはアカデミアの世界に近く、楽しさを感じます。一方で、ビジネスとして収益につなげていくミッションもあります。刻一刻と変化する金融市場で新しい課題や挑戦の機会が常に与えられる環境の中、数理的な専門性を発揮して収益に貢献できるのは、この仕事ならではの面白さでしょう。

大学での研究活動を楽しんでいることが重要

クオンツに必要な素養は、まず何よりも「大学での研究活動を楽しめて

いるか」だと思います。常に学び続けて仮説と検証を繰り返す、そのサイクルを楽しめることが第一条件です。そしてクオンツは、トレーダーやセールズなど、異なる専門性を持つ人とチームで動くため、コミュニケーションに対してネガティブな姿勢ではないことも大切です。そのうえで、将来の動きを予測するための数学的感覚や、論文や教科書などを通じて情報を収集する力、数式処理をプログラムに落とし込むプログラミングスキルなどが必要となります。クオンツは金融市場という大きな舞台で研究の世界では味わえない面白さを感じられるので、理系学生に興味を持ってもらえたら嬉しいです。

小嶋洋平

大和証券株式会社
デリバティブ・トレーディング部
フィナンシャル・エンジニアリング課
スペシャリストグレード
東京大学大学院 工学系研究科
物理工学専攻 修士



07 バイサイドクオンツ

投資の最前線、リスク管理、基礎研究など、幅広く活躍

バイサイドクオンツは、お客様から直接的または間接的に資金をお預かりして資産運用を行う、いわゆる機関投資家で働くクオンツです。保険会社、信託銀行、資産運用会社などで幅広く活躍しており、数理的な手法を駆使して金融マーケットや投資戦略を定量的に分析する役割を担います。

投資の最前線から、リスク管理、商品開発、基礎研究など、クオンツは幅広く活躍しています。たとえば、生命保険会社の資産運用部門では、投資資金を株や債券など異なるアセットクラスに資産配分するアセットアロケーション、そして配分された資金を世界の債券市場や株式市場、デリバティブに投資する運用フロント業務に携わっています。同じく保険会社では、リスク管理においてもクオンツが活躍しており、市場リスク、信用リスク、クレジットリスクなど多様なリスク管理をしています。資産と負債を両面から見てリスクとリターンの管理をするALM (Asset

Liability Management) においてもクオンツは重要な役割を果たします。

また、資産運用会社では、お客様のニーズを見ながら商品組成を行ったり、プライシングをしたりする商品開発にも携わります。さらには、こうしたクオンツの業務を支える基盤となる基礎研究も非常に重要な役割。このように、クオンツは数理的な専門性を発揮し、多様な場面での意思決定に深く関わっているのです。

膨大なデータとテクノロジーを味方につけ、付加価値を生み出す

クオンツの活躍の幅は、さらに広がっています。資産運用の面では、お客様のライフステージごとにニーズが細分化していることから、商品・サービスの充実に努めています。私たちバーテックス・インベストメント・ソリューションズも、そうした時代の流れから2022年の8月に誕生しました。強みとしては、クオンツアプローチによる投資です。人が定性的に判断する投資(ジャッジメント)と比較すると、クオンツアプローチを用いた投資のメリットは、投資の一貫性と

Buy-Side Quants

長期投資や分散投資の重要性が高まる中でさらに存在感を増すバイサイドクオンツ

持続性です。定量的なアプローチで投資判断軸を持つているため、相場変動に翻弄されて判断が左右されることがありません。また、長期投資や分散投資が重視される中、クオンツアプローチは高い品質での持続性ある運用を担保できます。今後もクオンツの重要性は、高まっていくでしょう。

クオンツの魅力は、膨大なデータを味方につけ、付加価値を生み出せることです。AIなどテクノロジーの発展により、経済指標、株価・為替のようなマーケットデータ、企業ニュースのテキストデータなど、人間の目では追いきれない膨大な情報量を瞬時に分析できるようになりました。

一方で、技術を過信しないことも重要です。私たちが対峙している金融マーケットは人が創り出すものです。様々な思惑を持つ市場参加者の投資行動の結果、形成されるものですから、非常に不確実性の高い世界。だからこそ、モデルや理論を机上の空論に終わらせず、マーケットの動きに照らし合わせ、想定と異なる動きをしたとしてもその原因を分析し、説明可能な状態にすることが重要といえます。

論理的思考力と、それに裏打ちされた直感が重要

膨大なデータを定量分析してモデ

すきのたいすけ
杉野 泰亮
バーテックス・インベストメント・ソリューションズ株式会社(第一生命グループ)
常務取締役兼 Chief Investment Officer
プリンストン大学大学院
オペレーションズリサーチ・金融工学
専攻修士課程修了



ルを開発するためには、数理的な知見や論理的思考力が必要です。ただ、金融マーケットはすべて理屈通りに動くわけではありません。実際のデータに合わせてモデルを検証し、ファインチューニングをしていく必要もあります。そのためには、数理的な洞察力や知見に裏打ちされた直感が重要です。これはまさに、理系の学生が研究の中で仮説と検証を重ねるプロセスに通じています。ビジネスの最前線から基礎研究まで、活躍の幅が広いバイサイドクオンツに、ぜひ挑戦してください。